

様式(細則 5-2)

平成 25 年 9 月 10 日

浜田市議会議長 濱 松 三 男 様

議員名 美 浦 美 樹 

調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 平成 25 年 8 月 27 日 (火) ~ 平成 25 年 8 月 29 日 (木)

2. 研修内容
第 11 回全国地方議員交流会

3. 研 修 先
川崎市・「サンピアンかわさき」

4. 調査経費 58,100 円
(経費内訳 参加費 10,000円 交通宿泊費 48,100円)

5. 調査研究活動の概要

別紙のとおり



浜田市議会議長 浜松三男様

創新会 美浦美樹



会派視察報告書

平成 25 年 9 月 1 0 日

1. 期間 平成 25 年 8 月 27 日(火)～8 月 2 9 日 (木)

2. 視察先 第 11 回全国地方議員交流会

(主催第 11 回全国地方議員交流会実行委員会)

会場：川崎市「サンピアンかわさき」

(参加人数 9 0 人)

3. 視察の目的

混沌とする世界情勢の中で、日本の（経済・国地方財政・
外交・防衛・原発）国、地方行政の重要課題、問題点に
ついて認識を深めるよい機会ととらえ参加した。

4.
5.

交流会の概要

1 日目・8 月 27 日 (火) 全体会議

1 3 : 3 0 ・ 開会

1 3 : 4 0 ・ 問題提起 交流会実行委員会事務局長

加藤 毅

安部政権の進める TPP 交渉参加、沖縄基地、

防衛、経済、財政、政策の課題について、地方との
「ねじれ」が顕在化しつつある、地方議員は注意深く
問題視し、力をつける必要がある。

14:00～16:20 講演

「辺野古への新基地建設反対は名護市民の総意」

名護市長 稲嶺 進氏

「TPPは第3の不平等条約」

前日本医師会会長 原中勝征氏

特別報告

「原発事故状況下における 本県漁業の現状」

報告者、福島県漁連会長、野崎 哲氏

2日目・ 8月28日 分科会

9:15～13:00

1) アベノミクスと地域経済 「23人」

2) 国と地方のねじれ、TPP、安保、原発、防衛

「27人」

3) 地方交付税改革を考える 「21人」

13:30～15:40 全体会（分科会の報告）

5、総括

今回、この交流会に参加して

米軍基地を多く抱える沖縄県民の思い、TPP 参加によって、保険、医療、農業等への不安、原発事故による放射能汚染水の海への流出による県漁民の不安など、現場の第 1 線の方々の講演を拝聴し、それぞれに認識を深めることができた。

また、分科会、全体会等を通して、課題や問題点も見えてきたように思う今後の推移を見守りながら。地域での活動に生かしたいと思っている。